

令和7年度 大久保小学校 グランドデザイン

〒338-0815 さいたま市桜区五関2-1

TEL 048-854-7636

FAX 048-840-1425

E-mail : okubo-e@saitama-city.ed.jp

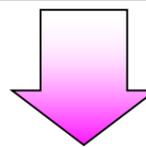
児童数 210名 男子 106名 女子 104名

学級数 9学級 みのり2学級 計11学級



学校教育目標

ゆめにむかって
かしこく やさしく たくましく



<めざす児童像>

進んで学ぶ子

心豊かに人とかかわる子

心身ともにたくましい子

自ら学び続ける力

やさしい心とコミュニケーション力

あきらめずにやり抜く力

めざす学校像 「明日も学校に行きたいな」

- | | | |
|-------|---------------|--------------------------|
| 【児童】 | 学習理解・良好な人間関係 | 「私の居場所がある」 |
| 【保護者】 | 成長する子ども・PTA活動 | 「通わせ甲斐がある」 |
| 【教職員】 | 学級経営・良好な教職員組織 | 「働き甲斐がある」 |
| 【地域】 | SSN・地域の行事 | 「地域に根ざし、地域に愛され、地域とともに育つ」 |



<令和7年度 重点目標>

学校教育目標達成のため、「地域に根ざし、地域に愛され、地域とともに育つ」学校を創造する。

1 学びの自律化

<昨日よりも今日、成長したことが実感できる学習指導>

大久保スタンダードの継続

- 児童自身が自分の学びの位置がわかる
→「何がわかって、何がわからないか」
- 児童自身が学びの方法がわかる
→「ICTの活用」「意見交流」等
- 児童自身が次の学習の目標を立てる
→「新たな学びの設定」

学習意欲

読書習慣

家庭学習

カリマネ(カリキュラムマネジメント)デザインマップ
作成・活用

3 教職員の資質向上と働き方改革

- 自ら課題設定し学び、互いに高め合う学校課題研究
- 心身ともに健康で働きやすい職場環境

2 児童一人ひとりがWell Beingな学校

<温かい学級経営><安全・安心な教育環境整美>

<確かな児童理解に基づく教育相談・生徒指導>

- 道徳科の授業、特別活動(なかよしタイム)の充実
- 校内支援背インター『Sola(ソラ)ルーム』及び教育相談室の設置、活用
- おはようメーターの活用 ・オンライン授業の配信
- 安全、健康教育の充実 ・SC、SSW等専門職との連携

4 コミュニティスクールの推進

<子どもを中心に、地域に根ざし地域に愛される学校>

- 「学校ボランティア」
(図書ボランティア・学校ファーム・セタかざり・ひな飾り・こいのぼり・昔遊び等)
- 県立浦和北高校との交流 ・ハートフルサッカー等

◇特色ある教育活動◇

○読書タイム

月曜日の朝10分間(自由読書)
担任やボランティアによる読み聞かせ(月1回)

○GS(グローバルスタディ)タイム

火曜日、金曜日の朝15分間
音楽やフレーズを生かした外国語に関する興味・関心の喚起

○学習・運動タイム

木曜日の朝10分間
持久力向上を目指した運動や計算など基礎・基本の習得

○なかよしタイム

木曜日の昼休み(35分間)異学年集団による遊びの企画や運営

○個別の支援

スクールアシスタントによる個別の支援
通級指導教室による個別の支援
「Sola(ソラ)ルーム」の活用

○教科担任制

専門性の高い教科担任制の実施(主に高学年)

○GS(グローバルスタディ)

発達段階に応じた外国語を用いたALT等とのコミュニケーション活動の充実

○豊かな体験活動の実施

館岩での自然体験、宿泊学習(現地小学校との交流)、修学旅行、校外学習、交通安全教室等の充実

○学校ファーム

農業体験を通じ、環境教育、食育等を推進

◇PTA活動・地域等の行事◇

- | | |
|----------------|----------------|
| ○学校協力 | ○朝の立哨指導(旗振り当番) |
| ○ベルマークの収集 | ○資源回収 |
| ○おおくぼチャレンジスクール | |
| ○夏祭り | ○スポレク大会 |
| ○オセロ大会 | ○大久保地区運動会 |
| ○大久保公民館文化祭 | |

等



さいたま市の教育が目指す人間像

世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

さいたま市教育ビジョンの基本理念と基本的方向性

【基本理念】

人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進

【基本的方向性】

- 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成
- グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成
- 人生100年時代を輝き続ける力の育成
- スクール・コミュニティによる連携・協働の充実
- 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

◇学校経営方針◇

～「エージェンシー」(自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する力)をはぐくむ～

1 「さいたま市スマートスクールプロジェクト(SSSP)の推進

- (1)「学び方改革」
・学習規律や学習ルールの徹底を図るとともに、子どもたち一人ひとりのよさや可能性を伸ばす「分かる楽しい授業」を実践する。
・ICTを駆使して、自分の力で主体的に探究を深めたり、友達と考えを交流して、ものの見方・考え方を広げたりする授業を実践する。
- (2)「教え方改革」
・スクールダッシュボードの各種教育データを活用し、子ども一人ひとりへの最適指導・支援を行う。
- (3)「働き方改革」
・校務用端末を活用した校務の効率化による業務改善を通して、教職員が働きやすい職場の雰囲気づくりを進めるとともに、教職員が子どもの変容や成長を間近で見守る時間を確保する。

2 誰一人取り残さない多様な学びの実現

- (1)「Sola(ソラ)ルーム」(校内支援センター)及び教育相談室を設置、活用し、教育相談体制の充実を図る
- (2)専門職の力を活用しながらチーム大久保で対応することにより、生徒指導、教育相談、特別支援教育の充実を図る。

3 「コミュニティスクール」の推進

「学校ボランティア」の方々と共に、学校、保護者、地域が一体となって明るく活力ある教育活動を推進する。

4 新たな学校課題研究の推進

教職員が「エージェンシー」のロールモデルとなるよう、課題を自分で設定し、互いに学び合い、高め合う校内課題研究を推進する。